学校番号	3037

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　改訂版　公共」（第一学習社）						
副教材等	学習事項の整理と問題　改訂版　公共ノート（第一学習社） フォーラム公共　（東京法令出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

複雑で変化が激しく、多様な価値観・人生観を持つ人びとがともに生きる現代においては、さまざまな立場の人の考えを考慮したうえで、一人ひとりが主体的に判断しながら社会にかかわることが求められる。「公共」の授業においては、その判断の材料となる基礎的・基本的な知識とそれを活用する力を身につけ、よりよい社会を形成することなどについて考察する。実社会が直面している課題について、自分の意見をもつことだけでなく、他者の考えを理解することも大切にしてほしい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりするための手掛かりとなる概念や理論について理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことで、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、政治的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用しながら、事実を基に多面的・多角的に考察して公正に判断し、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	公共的な空間をつくる私たち	Ⅰ　公共的な空間と人間とのかかわり 1 社会に生きる私たち 2 個人の尊厳と自主･自律 3 多様性と共通性 4 キャリア形成と自己実現 Ⅱ　社会に参画する自立した主体として 1 伝統や文化とのかかわり	a:青年期や公共的な空間と人間のかかわりについて学ぶ中で、自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、よりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。 b:伝統や文化と自らの行動様式や価値観との関係について考察している。 c:公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 ふりかえりシート
	公共的な空間における人間としてのあり方生き方	Ⅰ　人間としてのあり方生き方についての探求 1 人間と社会のあり方についての見方･考え方 2 実社会の事例から考える～環境保護 3 実社会の事例から考える～生命倫理 Ⅱ　選択･判断の手がかりとなる倫理的価値 1 公共的な空間を形成するための考え方 2 よりよく生きる行為者として活動するために	a:環境保護や生命倫理に関する事例をもとに、古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすために、行為者自身の人間としてのあり方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。 b:倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験などを通して、多面的・多角的に考察、表現している。 c:公共的な空間でどのように生きるかについて、先哲の生き方などを参考に、人間としてのあり方生き方について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 ふりかえりシート

1学期	公共的な空間における基本的原理	Ⅰ　自立した主体となることに向けて 1 人間の尊厳と平等 2 個人の尊重 3 民主政治の基本的原理 4 法の支配 5 自由･権利と責任･義務 Ⅱ　よりよい公共的な空間づくりをめざして 1 世界のおもな政治体制 2 日本国憲法に生きる基本的原理	a:各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 b:公共的な空間における基本的原理について、概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 c:公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原則を関連させながら、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 ふりかえりシート
	政治参加と公正な世論の形成	1 選挙の意義と課題 2 政治参加と世論形成 3 国会と立法 4 内閣と行政の民主化 5 地方自治と住民の福祉	a:政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。選挙権年齢が 18 歳以上であることを踏まえ、選挙の意義や、政治的無関心の危険性などについて理解している。 b:地方自治には、直接民主制の考え方に基づくしくみが、国政よりも多く取り入れられていることを理解しつつ、地方自治の課題についても考察、構想し、表現している。 c:政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 ふりかえりシート
	法や規範の意義と役割	1 私たちの生活と法 2 法と基本的人権 3 自由・平等と法・規範 4 法をよりよく変えていくために	a:法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。法が社会の秩序を維持するだけではなく、国民の活動を積極的に促進し、紛争を解決するなど、日常生活に密接に関連していることを理解している。 b:権利の獲得が私たちの生活をどのように変えたのか、また新しい人権とは何かをさまざまな立場に立って考察している。 c:法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 ふりかえりシート

2学期	契約と消費者の権利・責任	1 さまざまな契約と法 2 消費者の権利と責任	a:契約と消費者の権利・責任に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b:自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c:契約と消費者の権利・責任について、現代の諸課題を具体的な例をもとに、主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 ふりかえりシート
	司法参加の意義	1 裁判所と人権保障	a:国民の権利を守り、社会秩序を維持するために、公正な裁判が保障されていることを理解している。 b:検察審査会や国民の司法参加の意義など、具体的な主題を設定し、その主題を追究・解決するために考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c:司法参加の意義について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 ふりかえりシート
	国際社会と国家主権	1 国家と国際法 2 国境と領土問題 3 国際連合の役割と課題	a:国際社会と国家主権に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 b:国際法や国際機関の役割や課題について、国際平和の維持と安定のために広い視野に立って考察、構想したことを、論拠をもって表現している。 c:国際社会と国家主権について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 ふりかえりシート
	日本の安全保障と防衛	1 平和主義と安全保障 2 核兵器の廃絶と国際平和	a:日本国憲法の平和主義について理解している。 b:核兵器を廃絶するためには何が必要かを考え、軍縮の意義や効果について、さまざまな観点から考察している。 c:日本の安全保障と防衛について、現代の諸課題の解決に向けて、主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 ふりかえりシート

2学期	国際社会の変化と日本の役割	1 今日の国際社会 2 人種･民族問題と地域紛争 3 国際社会における日本の役割	a:国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄、人種・民族問題と地域紛争の実態、難民問題にする資料を、さまざまな情報手段を用いて収集し、課題の解決に向けて、国際社会では何がおこなわれているか、理解している。 b:国際社会の安定について、国民レベル、国家レベル、国際レベルで何ができるかを、さまざまな観点から考察し、論拠をもって表現している。 c:国際社会の変化と日本の役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 ふりかえりシート
	雇用と労働問題	1 私たちと経済 2 労働者の権利と労働問題	a:企業・家計・政府の三つの経済主体を考え、経済的な主体となる私たちは、どのように経済活動に参加しているのか、理解している。 b:雇用と労働問題について、日本的雇用慣行の崩れなど、現代の諸課題を主体的に考察、構想し、論拠をもって表現している。 c:雇用と労働問題について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 ふりかえりシート
	社会の変化と職業観	1 技術革新の進展と産業構造の変化 2 企業の活動 3 農林水産業の現状とこれから	a:社会の変化と職業観について、人工知能の進化の影響など、現代の諸課題を理解している。 b:技術革新の進展による生活の変化、産業構造の変化、経済のサービス化・ソフト化について、身近な問題と関連させて考察、構想し、論拠をもって表現している。 c:社会の変化と職業観について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 ふりかえりシート

3学期	市場経済の機能と限界	1 市場経済と経済運営 2 市場経済のしくみ 3 経済発展と環境保全 4 経済成長と国民福祉	a:市場経済の機能と限界に関わる現実社会の事柄や課題を理解している b:価格の変化が、消費者と企業の行動にどのように影響を及ぼしているか、さまざまな観点から多面的・多角的に考察、構想し、論拠をもって表現している。 c:市場経済の機能と限界について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 ふりかえりシート
	金融のはたらき	1 金融の意義や役割	a:金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b:自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c:金融のはたらきについて、現代の諸課題を主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 ふりかえりシート
	財政の役割と社会保障	1 政府の経済的役割と租税の意義 2 社会保障と国民福祉	a:財政の役割と社会保障に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b:財政政策の意義、日本の財政の課題を理解し、財政のしくみ、租税の意義と課題について、具体的に事例をあげて考察、構想し、主体的に考えている。 c:財政の役割と社会保障について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 ふりかえりシート
	経済のグローバル化	1 国際分業と国際貿易体制 2 国際収支と為替相場 3 経済のグローバル化と日本 4 地域的経済統合の動き 5 国際社会における貧困や格差 6 地球環境問題 7 資源･エネルギー問題 8 国際社会のこれから	a:経済のグローバル化に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b:貿易の意義、円高・円安が生じる理由、貿易摩擦などについて、考察、構想し、表現している。 c:国際協力のあり方、国際協調の重要性から、日本の役割について自分自身の問題として、主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 ふりかえりシート

	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	①地球環境問題～排出量取引を考える ②資源・エネルギー問題～ベストミックスを考える ③生命倫理～ゲノム編集を考える ④情報～インターネットによる投票を考える ⑤国際社会の課題～フェアトレードを考える	a:地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成を理解する。 b:現代の諸課題を、「第１編 公共の扉」で学んだことを基に、幸福、正義、公正や公共的な空間における基本的原理を用いて、考察、構想し、論拠をもって表現している。 c:現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 ふりかえりシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度